

○太田光明

……どうもありがとうございました。

本来ですと、ここで森先生にお話を……おったんですけども、何名かの方は御存じかもしれませんが、森先生は病気を患われまして、先週まで東大病院に入院されておりました。既に退院はされておりますけども……ということで、残念ながら急に来れないということで、私の方が森先生にかわりまして若干話を進めますけども、ほぼ3部構成になって、1部の方でいわゆる動物病院における看護職の重要性、それから第2部の方で行政機関における現状、あるいは今後の見通しをお話していただきました。第3部の坂田さん、横田さんの方から、現状、あるいは将来についてお話をしてくれました。私もきょう……最初にしますけども、一応、……116ページのところに、……話じゃないんですけども、若干いわゆる協調するために大学の方と話を進めています。

先ほど横田さんが使われてる、ほぼ同じデータなんですけども、現在、犬の飼育頭数、2003年……ところにあります。……2年後の方もほぼ同じことがあって、現在、この数というのは15歳以下の子供たちの数をはるかに超えてるという、そういう状態があります。同時に、現在の日本の人口構成が変わりつつあります。2010年のところを見ていただきますと、いわゆるこの部分が、いわゆる65歳、65歳以下15歳以上で、ここが0から14歳……人口構成が変わってまいります。いわゆるより動物の重要性が増してきた。これはアメリカの一つの研究の……なんですけども、1990年のこれが本来……、これは犬を飼っていない人、飼っている人を分けたときにストレスのない生活をしてる人、同じような状況で生活されている、犬の飼い主の効果で病院に行く回数が明らかに減ってくるという、いかに動物を飼うということが我々の健康にいいかということを示した、もう20年以上前のデータなんです。これは現状、先ほどの……重



要性が増すという、こういう状態の中で動物医療がますます必要になってくることは間違いない。

その中で……話がありましたように、獣医さんと動物看護職の……関係の問題、私が思う、これは……こういった問題は重要なことを何かを変える、あるいはよりいい方向に向かったときに、現状の認識が正しくないという改善ができません。ところが、そこに書いてありますけども、そのままですけども、統一した指針がないという問題、それから獣医師の分担が明確でないという、それから動物看護職の社会的認知度が低い、これはもう先ほどさまざまな話の中で、日本は欧米諸国に……よくないという、その結果、……事情があるということで、これを何とか改善しなくちゃいけないということがあって、ここからは……書いてありますので……、そういうことを改善するために、現在の獣医師の方で向こうから……といったことがありまして、実は……。いわゆる……しようではないか、……問題、それから獣医師の役割分担がふえ、獣医師会の表現と若干違いますけど、実は……やっぺいこうということでもあります。あとは時間の関係で省きますけども、こういったなぜ統一試験をやらなくちゃいけない、あるいは非常に大事なことは、まず統一試験をやるうとして、今、獣医師会の方でも動いてるし、我々……進めてるという状態なんですけども、国家試験に持っていくときに……、そういう人も入れていかないと多分そこまではいかないだろうということで、統一試験は実施するという形で現在、進めています。これは先ほど多くの先生方から発表……、本来なら……時間的な余裕等を含めて……これは現在獣医師会の方で話し合われているところでもあります。法律を変えなくちゃいけないという、そういった部分がありまして、……ということで、とにかくまず統一試験をやるうということで今現在、協会の方は進めておりまして、御存じだと思いますけども、プレテストを近々に実施いたします。ここで学んだ中で、時間……、この時期に……いけないということで今後も協会としては頑張っていきたいと思っております。

……ちょっと記念撮影を含めて、ここに並んでいただきます……。

○松原孝子

太田先生、ありがとうございました。

それでは看護職協会の方から一つお知らせをさせていただきます。来年2月に日本獣医内科学アカデミーの動物看護職プログラムの中で、先ほどお話しいただいた池本先生の方から、動物看護の倫理綱領ということでお話をいただきます。そのときに会員の皆様に動物看護職の倫理綱領というものをまとめたミニハンド



ブックを配付したいと思います。大変私ごとで恐縮なんですけれども、私、おとといまで東京大学の医学部附属病院で、2週間ほど看護師の研修を受けてきました。1番の講師が、そこの看護部長さんから看護倫理について話なんですね。そして看護部長さんの……仕事のハンドブックが入っていて、業務の……どうするかというときに、何でもしなくちゃいけないとおっしゃったんですね。私が本当にこの協会を立ち上げるときに一番思ったことというのは、思いがあっても教育水準も違うし、経験も違うし、ばらばらなんですね、動物看護という言葉一つとっても、統一して看護師が力を合わせないというのを感じておりましたので、一番にしたいことというのは動物看護職のための倫理綱領をつくりたいという思いがあって、そんなときに池本先生を訪ね、多くの相談役の先生方のお力を借りてつくることができましたので、ここでお知らせをしたいと思います。

○太田光明

それじゃ恐れ入りますけど……。

時間が10分ちょっとしかありませんが、先ほどの続きで、池本先生が先ほど、お答えをしてくる時に……遮ってしまいましたので、そこから。池本先生、先ほど済みません、よろしくお願いします。

○池本卯典

……わかると思いますけれども、……ございまして、処遇のところ……それぞれ特殊な……実情に即したのを確かに書いてある、そのことです。しかし、看護の専門学校等も……経験しておりますけども、カリキュラムを決して大学ばかりで……わけではないんです。大学のカリキュラム……。それはどういうことかといいますと、実は看護というのは、看護の大学は1,700 幾つありますけど、そのほぼ半分は看護師さんが学長だったり、学部長だったり、大きな病院の副院長……看護師です、そこが実施してますから……。だから……専門学校も先生

のカリキュラム……先生方に十分……これが実際のところなんです。ところが獣医……、私は申しわけないけど本当に4年制の獣医科大学なんかもたまたましてると、4年制の看護大学も何か下手をすると4年制の獣医科大学みたいになってしまう、これが看護師……するのではないかな。獣医の看護師というのは先生がいないんです、全くいないと言っていい、これから出てくる。……4年間……それがどれぐらい看護教育をできるかわかりませんが、それが一つ。

もう一つは、医療で看護師の専門職の多いのは、みんな健康保健科の大学です。健康保健で……なければ保健でお金が取れません。医療……機関が対決して、それで……そういうこともありますので、全部国家試験が……そういうことは……。

○太田光明

ありがとうございました。

原先生初め、言い足りないことございませんでしょうか。一言だけ順番に、なければ、そのまま通していきます。

○……

簡単に。私は動物病院で看護師さんの……、そして……、今のところ4年制大学とか、3年制大学とか、2年制大学、いろんな方たちが看護職として一緒に働いたり……。違いはありません。4年制だから2年制より違う技術ができる……、今、現場の中で一緒にやってくれるというところでは……今後の教育にぜひ期待したいと思います。

○……

私は今後の国家資格化ということにつきまして、一つお願いというのは、願いなんですけど、新しいこれから出てくる卒業生を中心に国家資格化ということはもう討論されてるのが中心だと思いますが、それだけではなくて、今現在、私ども動物病院で働いている、一生懸命働いている動物看護職の人をぜひ何らかの形で国家資格化をという受験といいましょうか、資格を与えていただきたいというふうに思うのが切なる願いです。

○……

よろしいですか、それで先生、これは何かそういうことに関してお考えは……。

○……

……日本獣医師会……お答えさせていただきたい。池本先生と先ほど……ヤマト先生を中心に……。それと、まずこの国家資格化について、これはもう私、先ほど言いましたように、もう総論賛成、各論反対の時代は終わったと思っておりますので、本日も関係者の方々それぞれ

が……やっておられますので、ぜひ協力していただきたい。そのかわり日本獣医師会としても、ヤマト先生を中心に私も……思っておりますので、この中ですごく重要なことは、このパネラーの中に今、動物看護師の方がいらっしやらない。それが今の現状であるということ、1点です。周りでいろいろとサポートされてこられた方、関係されてこられた方が、これだけ応援しますよ、頑張ってくださいということ述べられたなというのが私もうれしいなと思います。

これは同じように、きょう講演された私たち30年前の小動物の臨床科というのは、決して法律に守られてるわけでもなく、自分たちでかなり切り開いてきた部分があると、2人で夫婦でやれとった方が立派な動物病院やられてるということをつくさん見せていただきました。同じように30年後の動物看護師という方々というのは、その職業として明確に成り立ってるんだらうということ、これはもう最終的な目標として、あるいは今までの実践から言ったら必ずできるんじゃないかと。20年後どうなってるか、10年後どうなってるかということ、それぞれの立場で国家資格、あるいは制度をいろいろおっしゃってるんですけど、今、必要なことは、やはり1年後、2年後のことだと私は認識しておりますし、そのために太田先生が統一試験、そして国家資格化に向かう、池本先生が規則として国家資格につなげるようにすぐに認めなさいというふうにおっしゃってるというふうに認識しております。

これはだからおっしゃるように、当然……の方、2年で教育を受けられた、現在、動物看護師として仕事をされてる方が救われないような制度というのはあり得ないと。このことは私ども獣医師会もそう思っておりますし、……制度ができたときに、その方々の受験というものは当然のことです。ただ、私が先ほど福所先生の質問の件でさせていただいたのは、教育機関の中でコアカリキュラムが決まれば、それに準ずるように皆さん方を統一していただきたいということ、これはお願いだったので、あとの質問の意味を、質問の仕方が悪かったと思うんですけど、……学校教育をするに当たって、少なくとも決まったことは守っていただくように皆様方に働きかけていただくのを……先生と福所先生にはお願いしたいなというふうに思ってる……。ですから日本獣医師会としては、これから統一試験、そして認証団体ということにつきましては、これはそれぞれがいろんな意見が出ると思うんですけど、最後のお願いなんですけど、結局、各論で反対したから、意見が違うからといって飛び出す団体であったり、そこから離れるということがちょっと

でもであると、国民あるいは国から指示を得られませんので、今まで約5年間の間、平成17年からこの22年になる5年間の間、皆様方の御意見というのの調整はやってきたつもりです。ここから急にこの話を聞いたとか、おれの聞いてた話ではないとか、そういうふうなことは一切言っていたら困るなと思っております。このことは、私は会議の中でも明確に日本獣医師会の中で発言しております。ただ、しかし広報の仕方が悪いと言われれば悪いかもしれませんが、それはそれぞれの団体の方が、代表者、あるいはその方々が出席してる場で、公の場で……しておりますので、共通試験を行う、そして国家資格に向かう、学校はそれに合わせた教育をするということ、これだけは決まってると思っておりますし、そのことが次につながるんじゃないかと思っておりますので、皆さん、御協力よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○……

……4年で……か、6年制になっても国家試験……そういう暫定措置というのは必ず……。私が言う歴史に学べというのはそういうことなんです。

それから公認会計士や税理士……公認会計士……一級建築士……ときにできた、それからもっと前……獣医師の助手だった人をちょっと勉強させて、そして獣医の国家試験を受けさせた、そういう暫定措置がある。さあ問題は……どれぐらいで卒業教育を想定されるか、こういうことだろうと思う。だから……おっしゃった……誤ったらいかんと思う。法律は難しい規則だから、法律はなかなかできないかしらん、だから規則でやれる、本当に……できますもん、その早くやる方法を考えて……。

○……

ちょっと……。

○……

今、池本先生がおっしゃった中に、このパネラーの中に動物看護師がいなくておっしゃいましたけれど、横田さんも私も……いただけてますし、……。じゃあ動物看護職をしていないけど動物看護師ではない、私は薬剤師ですので薬局で働いていませんけれど薬剤師です。こっつて、ちょっと大事なんではないかなと思うんです。その資格というものがきちんとあることによって、その人の職域ができる、そこのところをこれからはやっぱり……必要なのではないかなと思っております。

○太田光明

ありがとうございます。

○……

済みませんでした。……大きさを言いたかったんです。

これは純粋に看護師として研修をされて、勉強されて、そしてこの新たな資格を取る、このような方がこれからどんどん出てきたらいいなと思っておりますので、そういう意味では横田さん、坂田さんは、自分たちが動物看護師として、そしてそのほかの資格も取り、さらにずっと生涯教育をしてるという姿を見せていただけたらうれしいと思いますし、今後も動物看護師の方は非常に20年、30年勤めておられる方がいらっしゃるの、その方々が背中を見せていただけるということを望みたいなと思いましたが、あえてゼロと言ったので、どうも済みませんでした。

○太田光明

ありがとうございました。

司会者をやって何がつかいかというと、時間に終わることなんです。……大変すばらしい話を伺いました。恐らくこれだけのいわゆる演出はもうないと思います。それでは、きょうすばらしい講演等になったのではないかなと……思います。私があと個人的な話を若干していきますけど、あと30秒だと思いますけど、やっぱり一番大事なのは……感謝の気持ち、教育……思います。これは現在の若い人たち……そういう意味では、ぜひ……いただきたいと、教育がしっかりしないとつちもさちもいきません……。その次は獣医師会……難しいんじゃないかなと私は思ってます。特に……獣医師の役割分担は大変ナーバスな問題です。まして、今もおっしゃるように法律改正を伴っている、このときに相当な力を……。そういう意味では福所先生、お若い……なので期待しております。きょうは、まさにホットな話題を今回アニマルケアという形で提供していただきました。……大変お礼を申し上げます……。じゃあ、講師の皆さんにもう一度拍手……。

